

共に生きる あどがわ

いつも
あなたのそばに

●発行者 安曇川民生委員児童委員協議会 ●連絡先 安曇川保健センター TEL 32-4413

こんにちは 民生委員・児童委員です

皆さんは毎年5月12日が「民生委員・児童委員の日」であることをご存知でしょうか。存在や活動内容について理解を深めていただくことを目的に、今年も5月12日から18日まで活動強化週間を設け、地域各所での取り組みを予定していましたが、コロナウィルスの影響により、呼びかけや説明ができなくなり、のぼり旗設置だけの活動となりました。すでに、民生委員・児童委員について理解されているかもわかりませんが少し説明させていただきます。



民生委員・児童委員とは

民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって地域の福祉向上に取り組むボランティアです。

民生委員・児童委員は

地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、行政・専門機関へのつなぎ役です。



主任児童委員とは

子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。



民生委員・児童委員の3つの基本姿勢

社会奉仕の精神
基本的人権の尊重
政治的中立



たとえば、こんなことでお困りのときはご相談ください!!

子ども

に関する事



- ・子育てについて
- ・いじめについて
- ・虐待について

障がい者

に関する事



- ・外出時の支援について
- ・障がい者手帳の交付について

高齢者

に関する事



- ・介護保険について
- ・ひとり暮らしで不安なことについて

その他生活全般

に関する事



- ・生活保護について
- ・貸付制度について

民生児童委員は無報酬のボランティアですが、身分上は特別職地方公務員のため活動には規制や制限があります。個人としては出来ても民生児童委員故にできない歯がゆさや葛藤を抱えながら担当地域で活動しています。各地域の民生児童委員は安曇川民児協に所属し、身近な存在として認めていただけるよう、民児協を道場の場としてそれぞれを高めていきますのでよろしくをお願いします。

Cさんのつづやき



病気で不自由な体になられ、事務手続きなどが煩わしくなられた方から確定申告の相談を受け、民生委員としての活動には該当しませんが一緒に申告書を仕上げています。毎回喜んでおられる姿を見ると嬉しくなります。

Bさんのつづやきその二



「〇〇さん、この頃元気ないんと違うか？一週見に行っただけで！」～民生児童委員になってから、時折こんな風な話を聞くことがあります。道で出会ったご近所の高齢者の方から聞いたり、小学生のお子さんの友達を心配しての電話ということもあります。「民生児童委員は皆さんの相談相手です！！」といいながらも一人で地域全体に隈無く目を行き届かすなんてことは、殆ど不可能といってもいいでしょう。そんな中で些細な情報でもいいので、気軽に教えて貰えると随分助かります。(当然情報源も含めて、民生児童委員が知り得た個人情報については、一切外部に出ることはありません。) 個々のお家の事情には立ち入らないでなく、ほんの僅かな隣人同士の心遣い出来るコミュニティ作りも民生児童委員の大切な役割だと感じるこの頃です。

Dさんのつづやき



民生児童委員になって、今までの仕事の経験が活かされて案外向いているように思われた。最初に思ったことは、『いかに地域の人々、児童や高齢者の方、障害を持つ方の心に寄り添った活動をしていけるか』であった。地域での活動では困りごとを解消するのに時間を要した事もあったが、市や社協、生活支援センター等の関係機関と連携を取って対応してきた。今後の活動も初心を忘れずに更に頑張っていく予定です。

お盆過ぎから安曇川の河原にコウノトリが飛来し、十羽以上の姿が確認される日もありました。仲睦まじく見えることから「幸せを運ぶ鳥」といわれたりもします。新型コロナで世の中全体が下を向いてしまいがちですが、我々を励ましに来てくれたのかなと感じました。民生児童委員も活動のパワーを授かりました。



地域で活動する民生児童委員のつづやきコーナー

Aさんのつづやきその二



お母さんの事が気になってお話をさせてもらいに来ました。介護サービスを受けられたらどうでしょうか。



家で充分世話をしてるがな。



民生委員として何もできなかった無力感で一杯。悔しいやら情けないやら結果の出ないことの方が多いが、様々な悔しさを糧に地道にやれば実ることもあるだろう。

Bさんのつづやきその一



「〇〇さんやんか」シニアカーで買物かいな。声かけて乗ってもらおうかな。待てよ、送迎は安全上控えなあかんのやったな。「〇〇さん悪いな気付けて行ってや」。民生委員には立場上気楽にできないことがあります。金銭貸借、病院への送迎、特定のお宅への除雪やホームヘルプ、男性民生委員が独居女性宅に上がり込むのも誤解の元です。個人的な思いと民生委員故の制限、すべての民生委員が抱える「忸怩たる思い」や「葛藤」を多少なりともご理解いただけるとありがたいです。

Aさんのつづやきその一



〇〇さん急病になった時のために命のバトンを設置されてはどうですか。



民生委員に家に出入りされるほど困っていないし、落ちぶれてないから今後は来んといってくれるか。



ガーン、めっちゃショックやな。民生委員の事、まだまだ世間には理解されてないな。区のために頑張ろうと思ってたのに力が抜けてしもた。けどあきらめたら終わりや、石の上にも3年やるべきことコツコツやってたら少しは理解してもらえるやろ。命のバトンとは、高齢者や障がいのある方等が、急病になったとき、筒形のケースに必要な情報を記入し、ケースに入れ、冷蔵庫にマグネットで止めておくことで救急隊員等が、持病やかかりつけの医療機関などの情報をより早く、確実に把握することが出来るものです。詳しくは各地域の民生児童委員までお問い合わせください

市民見協連全員研修に参加して

昨秋、安曇川市民協の県外研修で、隣接する長島愛生園を訪問しました。その際に、見学の案内をして下さった資料館の学芸員さんによる『癩予防法は入所者の生活を保障するために廃止できなかった』との言に違和感を感じました。二時間後に、20歳の時の強制隔離から60年以上愛生園で過ごしに来られた方のお話の中に『癩予防法により園内の生活が『法』や『人権』とは程遠い管理者側の『自由裁量』で支配されていた』とのお話を伺いました。ハンセン病の当事者とそれ以外の者との大きな温度差に驚いた次第です。

今回の青木園長のお話は、『強制隔離された方は、『入所者』でなく、『収容者』である』との観点が貫かれており、喉に小骨が刺さった様な状態から一年ぶりに解放されたように感じました。国の誤った隔離政策、また、世間での差別意識の増長などは、大きな人権侵害として決して言い訳の出来るものではありません。昨年からは、ハンセン病を世界遺産にとの運動が進められている中、この『負の遺産』を、正しく伝えることの必要性を痛感しました。



待望の「横断歩道標示」塗り替えなる!

この横断歩道は「田中」の信号北側にあり、陵から信号まで直線でスピードが出る位置にあります。毎日登校時には馬場・仁和寺・梅の子の小学生や中学生等、下校時には庄塚・三重生の小学生等が加わり唯一安心して渡れる「通路」として利用しています。通勤時間帯と重なる登校時には車の往来が多く、「停止しない車」等危険な場面が度々見受けられ毎日が緊張の連続です。

この度、関係区の区長・PTA・民生委員等の切実な声が届き「路面標示」の一部が塗り替えられひとまず安心です。さらに遠距離からでも認識できる立体的な「予告路面標示」等の改善を期待して止みません。



「ふじの里」で除草作業を行いました

夏祭り、秋祭り等で交流の深い安曇川唯一の特別養護老人施設「ふじの里」ではコロナ禍の為に交流が中止となり、今年は除草のボランティア活動をする。

